

# JAL・KDDI・KDDI総合研究所は、「5G」を用いた便利で快適な 空港サービスの実証実験を開始

(共同リリース)

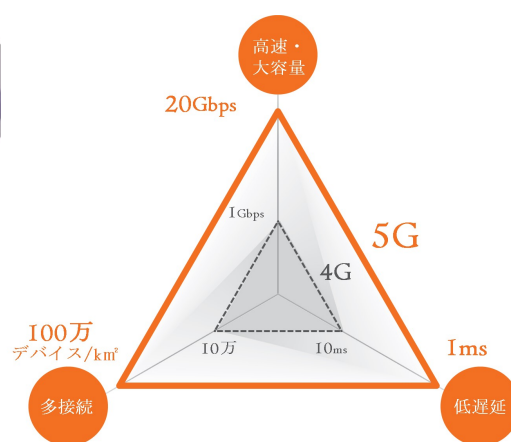
2018年11月5日  
日本航空株式会社  
KDDI株式会社  
株式会社KDDI総合研究所

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:赤坂 祐二、以下JAL)、KDDI株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:高橋 誠、以下KDDI)および株式会社KDDI総合研究所(本社:埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長:中島康之、以下KDDI総合研究所)は、共同で次世代通信規格「5G(\*)」を用いた航空サービスに関する実証実験を開始します。

第一世代(1G)から第四世代(4G)までの進化



そして、第五世代(5G)



(\*)5Gは以下の特長を持った次世代通信規格で、2019年以降順次日本に導入予定です。

- ・高速・大容量(4Gと比べて約20倍)⇒4KやVRなどのリッチな映像体験などが可能
- ・多接続(4Gと比べて約10倍)⇒各種センサーデータとリアルタイムに連携
- ・低遅延(4Gの1/10以下)⇒遠隔地をリアルタイムに体験することが可能

## 【実証実験内容】

### ① 5G専用端末によるタッチレス搭乗ゲート

スマートフォンの専用アプリ等で事前チェックインを実施すると、搭乗ゲートに設置した5G機器が自動的かつ素早くチェックイン情報の検知・認証を行い、カバンなどからスマートフォンを取り出すことなく、スムーズに搭乗ゲートを通すことができます。

### ② お客さまのニーズに合わせた情報配信

ラウンジなどの特定エリアを対象に、そこに滞在しているお客さまのみが視聴可能なコンテンツを配信します。「5G」ならではの、VRを含めた高精細な映像やご案内などの特別な内容をご覧いただくことができ、それぞれの空間やお客さまのニーズに合わせた最適なコンテンツの提供が可能となります。

### ③ 位置測定

スマートフォンなどの携帯端末から空港内における滞在位置を「5G」を活用して把握し、その位置からゲートまでの道順や搭乗予定時刻のご案内をお送りすることで、適時適切なコンテンツの提供、スムーズな搭乗の実現を目指します。

この実験は、開設した「JAL Innovation Lab(以下、ラボ)」(\*)内に、5G通信環境を備えた搭乗ゲートなどの空港施設を模した施設をKDDIおよびKDDI総合研究所と再現し、実際のご利用状況を想定した新サービスの実証実験を行います。自社施設内で行う「5G」の実験は、航空会社としては、日本で初めてであり、状況に応じたレイアウト変更などが可能となるため、精度の高い検証が可能となります。

(\*)2018年5月29日付プレスリリース 第18024号「オープンイノベーションの拠点としてJAL Innovation を開設」参照  
URL: <http://press.jal.co.jp/ja/release/201805/004736.html>

JAL  
INNOVATION  
Lab

*au* 5G

#### 【各社の役割】

JAL

- ・ 空港・機内などにおける新しい体験の企画、開発
- ・ 「JAL Innovation Lab」の提供

KDDI

- ・ 5G環境の提供

KDDI総合研究所

- ・ 5Gの無線特性を生かした独自の技術開発
- ・ サービス実現に向けた実証実験の実施

以上